



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は自由に記入してください



今回の授業では、地図や写真や実体馬券を元にした講義等を使っていたのでとても分かりやすく、また音や身振り手振りを使い解説等もしてくれました。

原爆が爆発するときの温度は一万という科学的な解説もありました。

僕が四〜五才の時、友達と原爆資料館に行ったことがあり、ひふがとけている人の写真や遺品等を見て泣き出してしまいました。しかし今思い出してみると、これを生でいっしょに見てきていたのだからと思うと、ゾクゾクします。

今回の授業を受けて、原爆資料館に改めて行ってみたいと思いました。



名前を縦欄に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2/19

原爆先生の特別授業を受け、戦争というのは本当に多くの人の身も心も傷つけるのだなという事がよく分かりました。普段私達のような戦争を経験していないような子供は「戦争」について考える機会がほとんどないのでこのように時間を設けてもらいよかったです。

私は以前沖縄に行く際、ひめゆり平和祈念資料館へ行きました。資料館の周りには煙草があり、すこしさみしげなふんいきがたまたまの覚えを覚ます。昔は戦争のことを全く知らなかった私には少し難しかったのですが悲しくなりました。そんな悲しいことを毎週繰り返すことは思いません。ずっと今のこの平和な世の中が続いてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

名前を裏面に記入してください



ほんかと思ふこと、原爆ト云ふは、よくあの状況  
 の今の形でのことではなから。原爆が火暴  
 炎は、約100mくらいは広がるとして、真空地  
 帯になり、その後の上昇気流のときの威力が  
 あったはずだし、あと、アメリカもその火暴が  
 大と思つた。47の火暴3年を7年で、829枚、171枚  
 あり、いくつ広島をよび、都市で、日本毛制空機  
 を作るとして、211の不思議です。でも、戦士  
 たちは、命を犠牲にして、また、作ります。



# 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



名前を裏面に記入してください

1945年(昭和20年)8月6日、9日に広島と長崎に原子爆弾が落とされたのは本で読みましたが、(はたしのケラという本で読みました)原爆先生のお話を聞いて、広島と長崎に原爆を落とした理由などが聞けてとても勉強になりました。例えば、落とした原子爆弾の名前です。「リトル・ボーイ」日本語で小さな子。ですが「リトル・ボーイ」の長さは3.12mで重さは約4t、どかが小さな子だと思、てしまいました。他に理由があるのかな、と僕はそう思います。原爆先生のお話を聞いても、と原爆の悲惨さを知れました。原爆の事を書いた本もあるので読んでみたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前を裏面に記入してください

広島原爆ドームの本当の名前が  
広島県産業奨励館なんだとい  
思いました。

被爆者のうでのひふがただれ  
落ちて、赤かくなっているという  
表現が気持ち悪かったです。  
でも、こんなことが本当にあった  
んだと思うと、背筋がこおりに  
ます。

やっぱり、戦争という物は、  
2度とやってはいけない物だとい  
思います。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 9

「愛とか、平和とか、きれいごと」。なにかの本で数ヶ月前出会った言葉です。今日、池田先生のお父さんがっぴやいたという言葉を書き、パッとおもいだしたので、池田先生のお父さんが、平和記念館を訪れた時に、「きれいすぎる」と一言のみ、っぴやいたというのが、脳裏に焼きついて、はなれません。「これからの子供たちの愛のため、平和のため」。そんな目的でつくられた、平和記念館。実際に悲さんな光景を目の当たりにした人から見たら、「きれいすぎた」。では、もっと悲さんで、人々が哀感をおぼえ、恐怖に打るひしかかれるようなものをつくれはよいのか。それは私は、ちがうのだと思います。実際に体験した人でないと分からない感情や景色というものが世の中にはあるのです。それを、「そうだね。分かるよ。っらか。たね。かわいそう。」ですませるのは、もちろんちがいます。分かるうとする努力、「他人事」ではなく、「自分ごと」としてとらえることが、「実体験者」にしか分からないこと、私たちが一生かけても分かりきれないこと」に歩み寄る。近付く一歩なのかもしれないなと強く感じました。「きれいごと」のあふれる昨今の世の中で、「歩み寄る」ことはきつと大事なことだと私は信じています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前を裏面に記入してください



僕は、原爆先生の特別授業を受け  
て、かんちがいしていた所や、初めて知ったこ  
とが、ありました。例えば、かんちがいしてい  
たことは、原子爆弾は、パラシュートに  
つけて投下されていたことと、初  
めて知ったことは、投下するのは天候で決  
めるということや、原爆が予想以上に重か  
たり、爆発したのは、地面についてからで  
はなく、上空600mの所で爆発したというこ  
とです。他にも、おどろいたことは、衝撃波の速さが音  
速よりも速いことや、爆発した後に、-1km、  
真空に近くなる所が出来たりすることです。この  
授業を通して、もうこの先、絶対に原子爆  
弾は、使ってはいけない物だ、作ってはいけ  
ない物だと僕は思いました。



名前を裏面に記入してください

## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して



今まで、「原爆」というものは知っていましたが、「何かどう怖いものなのか」「どのような状況にあったのか」などのくわしいことは、理解していませんでした。しかし、今回の特別授業によって、少しだけ分かったことがあります。それは、「原子爆弾は人を、町を、全てをくるわせてしまうものである」ということです。私は広島市の原爆ドームを訪ねたこともありません。実際に被害を受けた訳でもありません。でも先生自身が被害にあつた人の様子を、とても丁寧に教えて下さつたことで、原爆は、人を、こんなにも傷つけてしまうものなのか、と恐怖の気持ちになりました。これから、戦争体験者は、どんどん減つていってしまいます。そんな中で、私達子供が出来るのは、語りつぐということだけですね。先生が、父・義三さんの体験を、話して下さいた様に、私も、今回聞いたお話を、後世に伝えられたらいいな、と思います。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ



私は、池田先生のお話を  
聞いて、正直、初めての原爆に対して  
の、きょうふを、聞いていただけで  
実感しました。

池田先生のお父さんが、体験した  
本当にあつた出来事というのは、  
これから先、新しい世代になっても、けして  
忘れてはいけないうものなと思いました。

そして、もう二度と、戦争や、七十七年前の  
巨大な原子爆弾などによつて、  
不安で生きつらい社会をつくらせては  
いけないと、改めて思わされました。

池田先生の受講は、爆弾が落下され  
る際になる、風の音、そして、爆発音。  
先生自身で、表現されていて、本当に、私達たち  
に、真剣に原爆というおそろしさを語り、  
くれたんだな。と思いました。

池田先生が、話してくださった事をよく理解  
して、これから、平和な世の中にしていきます。



名前を裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



ぼくは以前本等で戦争の事を知りました。戦争はとても悲しい出来事だと知りました。しかし、原爆先生のお話を聞かせていただいて、ぼくは悲しい出来事だけではおさまらない何かを感じました。原爆が落ちた時の再現では、その音に驚きました。実際はそれがもっと大きく恐怖だったのかと思います。義三さんのVTRでは、泣いている姿を見て、つらかったのだと思いました。原爆チームに訪れた時に言っていた、「こんなきれいじゃない」は、実際に体験した人にか分からない事があるのだと感じました。ぼくはそれが何か分かりません。しかし、ぼくに出来る事があると思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して



各語は裏面に記入してください

- 原爆の本当の悲惨さが分かり、<sup>敬</sup>馬<sup>愕</sup>した。
- 池田先生の迫力ある講話で、本当にその<sup>号</sup>にいるように感じ、こわくなった。
- 原爆のことをもっと知るためにこれから一生懸命勉強をしたいと思います。
- これから二度と核兵器を使ってはいけな<sup>い</sup>と感じた。
- 原爆についてのくわしい話を聞くことができ、原爆のこわさが理解できました。
- 池田先生が教えたことを後世で生きる人々に伝えようと思います。
- 広島市の人口の70%が被爆し、5人に2人が亡くなってしま<sup>う</sup>ほど被害が大きかったことが分かった。
- 原爆が投下された時に温度が3000℃にもなったことに驚いた。
- キノコ雲がどうやって出来るかがよく分かった。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



原爆が投下した時の演出が、今実際に起こった様な気がしてドキドキした。原爆の温度や、広島がこうほに上がった理由、パラシュートで落とされたという誤解の誤りなど、ためになる話が沢山あった。特に、京都が一番強く本当はおされていた、ということが意外で、とてもびっくりしてしまった。その後、けがをしている姉とその弟の話聞いた時は、とても感動して、思わず涙が出そうになった。原爆というものの悲惨さを知り、当事、広島にいた人達はどれだけ苦しんだだろう、どれだけ悲しんだだろうと思った。原爆が投下されたという事実は、おどろくほど重くて深かった。だからこそこの事実を知り、たくさんの人に伝えていかなければいけない、と私は考えた。



各冊は裏面に記入してください

## 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



沈田先生は、授業で様々な話をしてくれました。

その中で特に印象深かったものがあります。

それは、吉蔵さんの体験談です。

正直な所、あまり実感がわきませんでした。

でも、話を聞いていくと、やはり、ひさんなもの、  
恐れるべきものたとは、分かります。

そして、さらには、原爆についての説明も  
してもらいました。

聞けば聞くほどひさんなものか人間の頭上に

おちたんだな、<sup>思</sup>いに、どんな状況だったのか  
ということ想像しつても実感はわきません。

でも、わかって木トになる私は、実感はなくても  
平和を守りたいです。



名前を反側に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して



私は池田先生の特別授業を受講して、こんな戦争が本当にあったなんて信じられないくらいおどろきました。

中でもとてもおどろいたことがあります。それは広島と長崎の原子爆弾投下です。このことはもともと知っていましたが、授業で池田先生が飛行機の音や爆弾が落ちた時の音をまねて出した音に思わずびっくりしてしまいました。でも、本当にあった時の方が怖いし、おどろくと思うので戦争はどんなに怖く、つらかったことかが改めて分かりました。その他にも全身やけどを負った人など話の中から出てくることはつらいことばかりで、それを思い出したビデオの中の池田義三さんも泣きながら話していました。

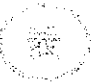
この授業を経て改めてこのような戦争が全てなくなる世界になってほしいと思いました。



名前は表面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



原爆先生の話聞いて、思ってた以上の悲惨さを矢張りすることができました。日本人ならば忘れてはいけない広島と長崎に落とされた原子爆弾。たった一発で一瞬にして十万人以上がなくなりました。それが2回も行われました。原爆を落とす候補には「広島」「長崎」として「京都」がありました。京都は米軍が播磨原爆を落とそうとしていた所でした。しかし昔からの文化が残る京都には原爆を落とさずでした。この判断によって今も歴史ただよう京都でいられています。しかし広島と長崎には原爆を落とされてしまいました。地上600mという低い高さで上空から太陽の熱さ6000℃を超える7000℃の原爆が広島を一瞬にして灰色の世界にしてしまいました。全身をやけどしている人が陸軍の人に救いを求めているが、それもむなしく無視することしかできない陸軍の人達のつらさを感じることができたと思いました。日本はいつまでも「平等な国」でいてほしいと願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前を長冊に記入してください

2/10

池田貞徳先生の特別授業を受講し、改めて原爆の恐しいと思いました。

なぜなら、池田貞徳先生の話がとても分かりやすく、原爆の爆発音の再元音「くわし」の解説があたからず、その解説の中には自分の知らないことが多くあり、その中には「さうなの」とまどろくようなこともあったから、また原爆の爆発の再元音にはとてもびっくりしお布くなりました。

今の私達は平和な世で生きているため、今日の授業を後世に伝えていきたいです。





原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

池田先生の言語は広島の人々について  
良く分かり、  
父の義三さんの言っていることが気持ち  
伝まりました。  
おとや一人などの表現が上手でした。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

私は、広島県と愛媛県で原子爆弾が投下された多くの  
人々が「苦しむ思いをし、せくら米にからことは知っていたが、  
しかし実際、原爆症で苦しんでいる人や、悲しいな現場を見たりした  
人の気持ち、本当は助けたかったけれど助けられず目の前で人が  
死んでいく人を見ることかできない人の気持ち。これを全て本当に  
あった出来事なのに今の世代では知っている人は少ないと、思っ  
ます。私は、原爆先生の話を聞いて始めは恐ろしくて足が震え  
るほどでした。それでも、こうして原爆先生のお話が聞けることは  
とても貴重なことです。今回のお話は、原爆先生のお父様が  
広島をされたお話でした。原子爆弾の衝撃波は音速よりも  
100倍速く、とてもおどろきました。原子爆弾の爆発にたえきても、  
とても速い衝撃波で遠くまで飛ばされてしまった人もいます。  
五人に二人七くなつてしまったのです。これと同じことが長崎市にも  
おりました。そして最後に先生のお父様が言ったことがとても  
印象に残りました。お父様が先生と広島原爆資料館に行った  
ときのことです。「きれすぎる」と言ったそうです。資料館で展示されて  
いることは実際よりもきれいな出来事として描かれています。

原爆を体験した人々はもう高齢者です。そのため、今の世代の  
私達が受けついでいかなければなりません。私もその第一歩を歩んでいきたいです。



名前は表筒に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

原爆先生の特別授業では一言一言が非常にリアルで生々しく、自分がその場にいるような、感じたことのない気持ちになりました。

私は身近に戦争体験をした人はいないお婆さんしかおらず、いもお婆さんも私が生まれた何年後かに亡くなりました。

祖母は一応真珠湾攻撃が行われた年に生まれましたが、祖母が生きていた頃は私も幼く、祖母が亡くなる何年前は祖母の体は癌にむしばまれて、お容易に話かけることはできませんでした。

ですから戦争体験者のお話を生で聞く機会がありませんでした。ですが今日のお話を聞いて戦争の小説、映画では体験できなかった戦争の怖さの一面を見ることが出来ました。

戦争を経験したことのない私達にとって被爆しなくなった方々の為に来ることといえは被爆者の方が残した書物や話を後世に伝えていくことだと改めて感じました。



是非は是非に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ



2/9

- ・自分もともと原爆の恐しさについて、夏休みのレポートで言及したときくらいしか触れなかったが、原爆先生の特別授業を受講し、想像を超える程の事実を知ることができた。
- ・アメリカ軍が広島に原爆を落とすために、たくさんの実験や予測をしていることを知り、とても驚いた。
- ・エノラ・ゲイが原爆を落とす仕組みについては、少し莫佳しかかったが、とてもためになった。
- ・土也図や図などを用いていたのでとてもわかりやすかった。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は裏面に記入してください



戦争の非惨さを改めて痛感しました。

原爆で多くの方がなくなったことも、とても悔しく思います。途中、原爆のいりかについての説明があったとき、生き物が炭化した、と聞き、とても恐ろしくなりました。講室でお話を拝聴している間、ふんとか寒気が背中を駆けぬけました。それほど想像も絶する話でした。

また、備はじめの義三さんのお話の時、人間では無い、体裁のものか、は、ててきた、と聞いた時、想像してゾッとしました。戦争中、内蔵がはみている人や、肉や骨がみえて、る人を見るのは、とても目を背けたくなるようなことだと思ひます。私も何度か手術の現場、はみているのですが、そのような状態の人がある、と考えると、恐ろしくて復讐も出来なくなってしまうそうです。

そんな戦争は、もう二度とあってはならないことだと思ひます。日本は太平洋戦争後、アメリカの核の傘の中に入っています。国連で“核禁止条約”が採択されても加名することが出来ない。被爆者の方々がどんなに願っても、できません。

しかし、その条約に参加できないからと言って、なにも出来ない訳ではありません。毎年広島で追悼式が行われています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

了。そこで学生が演せっをしているのを見て、このようなことは、  
後世に伝えていくべきだと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

各語は裏面に記入してください



実際にその場にいたかのような臨場感があったし、エノラゲイが機長の母の名前であること、昔の雲の動き方などを、詳しく知れました。

今の平和な日本は、この時の「ぎせい」があったからなので、平和の尊さを改めて実感しました。

そして今でも原爆病によって苦しんでいる人がいることを知り、自分にもなにかできないのかと考えるようになりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

今まで色々な資料を見て原爆のことを知った気になって  
 いました。しかし、今回の特別授業では僕が全く知  
 らなかつたことが分かりました。小倉が候補になつて  
 いたこと、原子爆弾を落とす飛行機のマと、地上600m  
 に小さい太陽のよなものができたこと、キノコ雲の原理  
 を知れました。それに原爆が落とされた時の状態と、  
 人の姿などを詳しくお話があったので、より原爆の恐は  
 や、残酷さを知ることができました。このような出来  
 事があつてその上で自分が生きているということ  
 を頭にに入れて、これからは過したいと思ひました。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

2/9

私は、原爆について、この特別授業を受ける前に、お話を聞いたり、原爆について言及したことがありません。私は生まれた時が母と父の祖母にしかもう生きておらず、5才ほどの時に二人の祖母もなくなりました。なので祖父の話も父・母があまり聞いていたことがないので、原爆先生から原爆のおそろしさを聞いて、原爆について学びました。次に原子爆弾投下都市の条件におどろきました。社会の授業などでは広島県と、長崎県に投下されたという事しか矢口はせんでした。最初からこの二つの都市に決定していたのだと思っていたので、他の4つの都市が候補に上がっていたんだなとおどろきました。京都府にしなかった理由も明確で、3人しか俱も古い人達で作上げた文化財を壊すのはやめようと思使わいがかかりました。でも原子爆弾を投下するのはよくな  
それらの  
あともう一つは  
パラシュートで投下されたんだと思っていました。でも本当は「ラジオゾンデ」という機械がパラシュートで投下したんだと知りました。私も昔の人と思に誤解をしていました。原爆先生のパラシュートは誤解で本当のことを教えてもらって思いました。(誤解がとけた) お体に気をつけて。このお仕事を承けて、語りつづけてほしいです。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

各ページ裏面に記入してください



僕は、原爆先生の話聞いてより原爆の恐ろしさを実感しました。

これまでも原爆の話は何回も聞いたことがあるけれど今までよりも、より長く聞いたり、資料を見たりしたことによりより深く広島原爆のことを知ることができました。

僕は、戦争経験者が近くにいなかったので話を聞くことができて、とても原爆の恐ろしさを実感することができました。

そして、昔に行ったことがある広島平和記念館に展示されていた物の意味も理解できるようになりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は上面に記入してください



本日は原爆先生の特別授業を受講しました。  
私は義三さんの話を通じて、軍人の大変さや戦争  
中の人々のくるしみも今一度思い知りました。  
軍人の大変さとしては、においのすごい死体を焼却  
しなければならず、自分には金寸むりだな  
と思いました。

戦争中の人々のくるしみは、全身が真赤に焼  
上がっている中、最後の余力を降りこぼして兵隊  
さんたすけてと言っている人がいたことを聞いて  
ぞ、としました。

でも、もし自分がひ爆者だとしても、太陽より  
熱い物体が空から降ってきたら金寸むりに比べ  
きれないと思いました。

そして、今の世界が平和であることがない  
よりのあわせなのだと思いました。  
今度原爆ドームに行ってみたいと思いま  
した。



元から広島に原子が爆弾が落とされていた事は知っていましたが、どれだけ熱線が強く、衝撃波が速く、何%の確率で死んでしまうか知りませんでした。

教えて頂いた中で、僕が一番驚いた事は爆心の表面が太陽の表面温度よりも1000℃も高い7000℃もあった事です。爆心地で無実な人が全身を丸こげになったり、一瞬で殺されていたとは思ってもよらない事でした。池田義三さんが話している時に泣き出してしまうほど怖がった事なのだと思います。悲しく思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して



名前を裏面に記入してください

2/9

私は今回の特別授業を受講して、初めて、自分が被爆しために感じられました。今まで次山原爆についてふれてきたが、そこまで深く考える事にはたが、ただおそろしいだけだと思っていました。

原子爆弾がなに、広島と長崎に投下されて、京都に投下されなかったのか、また、原子爆弾のおそろしさなにを具体的に教えてもらってほしい勉強になりました。

今回時間が足りなくて話してもらえなかったことを、キンドルなどでもっと勉強をしたいと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して



名前を裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いて良かったと思います。なぜなら、あまり戦争を想像できなかったからです。戦争を体験した祖母の話を聞いても、やはり想像ができませんでした。だから、話がリアルな音を聞いて想像ができました。また、最初に京都をねらったことを初めて知りました。



## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

名前と裏面に記入してください



私は原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を通して、原爆の事実を知る事ができました。

私は今まで広島、長崎への原爆投下は重大な事であると分っていたから、やはり、「昔の事だ」とか、「遠くの所で起きた」とか、身近に感じていなかったのですが、原爆がおとされた時の様子やどれほどひどかったのかが、ものすごくわかりました。お話を聞いていると、自分まで、こわくなってきますが、7000℃の中もがいていたくろしみなど、想像もできません。このような人達の事を思うと、原爆がどんなに、おそろしいことかがわかりました。この出来事を後世に伝えたいと思いました。



名前を裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ



219

僕は、これまで原爆が広島と長崎に投下されたその雲ができたことは知っていました。しかし、なぜあの雲ができたのか、また原爆を投下され想像できない人々や広島の実状を見た兵隊さんの思いが分かりました。

原爆というものについては、どういふものなのかを正しく理解していなかったため被爆者があつた3000℃の超高熱には大変おどろきました。

「またあの雲がなぜあのような形になったのかが不思議でした。その理由が知れたのはよかったです。その中に入っていたと考えられる尊い命や苦勞してつくりあげた建築物の数々が、こなごなとなって入っていたと考えると、原爆のおそろしさが伝わってきました。

この原爆先生の授業を受け、原爆のことをもっと知りたくなりました。今後は原爆のことを軽く受けとめず、深く考えていきたいです。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

ナ  
カ



名前を裏面に記入してください

ぼくは、今日の授業を受けて、思ったことをここに  
まとめておきたいと思います。

ぼくは、2年くらい前に広島市の原爆ドーム資料館に行  
きました。そこで、ぼくは戦争の苦しみを知ることができ  
ました。それを聞いて、今日は、忘れることのないことを覚  
えたい。それ以上のことを教えられました。

今日学んだことを、ぼく達は後世に伝える責任がある  
から、しっかりと書き残すことを誓いました。義三先生ありが  
ございました。